

2023年3月31日

## 編集委員会報告

2022年度投稿分（2023年発行 Vol.3）について

### (1) 委員の委嘱

委員長 中坪史典  
委員 金井智恵子  
委員 二宮祐子  
委員 木村拓磨

### (2) 査読者の委嘱

中坪委員長をはじめ、学会内外で以下の方々に査読協力を依頼いたしました。※敬称略  
上村 晶（桜花学園大学）、金井智恵子（和洋女子大学）、木村拓磨（名古屋経営短期大学）、  
境愛一郎（共立女子大学）、二宮祐子（和洋女子大学）

学会誌発行状況

第3巻まで発行済（2023年4月現在）

### (3) 投稿数・採択数・採択率

年	2022年度（令和4年度）		
	投稿数（稿）	採択数（稿）	採択率（%）
原著	9	5	56
総説	—	—	—
事例（実践）報告	—	—	—
紹介・調査	1	1	100
その他	—	—	—
合計	10	6	60

### (4) 編集委員会講評

[原著]

著者・所属	論文等タイトル
齊藤 友子（大分大学教育学部 生活・技術教育講座）	A 県の保育所、幼稚園、認定こども園で働く保育従事者の職 場のストレス要因・勤務状況と精神健康との関連
〔講評〕 保育所等で働く保育従事者のストレスと勤務状況に着目した有意義な論文です。現 場へのフィードバックとともに、業務の見直しが図られることを期待しています。	

著者・所属	論文等タイトル
貞松 成（大阪総合保育大学大学院） 中山 奈保子（彰栄リハビリテーション専門学校）	保育者が集団に入ることが難しいと認識する気になる子どもの範囲 - 発達記録を分析して -
〔講評〕 「保育者が集団に入ることが難しいと認識する気になる子ども」について、保育者の実感に基づいて範囲を定めるといった趣旨自体は理解できるものであり、援助的観点のみならず、文化的な側面においても興味深いテーマです。	
著者・所属	論文等タイトル
渡邊 天海（AIAI Child Care 株式会社） 金井 智恵子（和洋女子大学）	幼児における有能感と社会的受容感に対するほめ合う活動の影響について
〔講評〕 幼児期の有能感に着目し、ほめ合う活動が幼児の有能観や受容感の向上に影響を与えることを実証的に検討した意欲的な研究であると言えます。	
著者・所属	論文等タイトル
藤後 悦子（東京未来大学こども心理学部） 井梅 由美子（同） 大橋 恵（同）	子どもの習い事に対する親の意識に子育て絵本が与える影響 - 日本・中国・アメリカ・ドイツの4か国比較-
〔講評〕 絵本による保護者の意識変容を国際的に比較した貴重な研究であり、これまでの研究の蓄積も含め、発展的な可能性のある研究と考えます。また、育児における習い事については、子ども、保護者ともに大きな影響を及ぼしており、非常に興味深く拝読いたしました。	
著者・所属	論文等タイトル
二宮 祐子（和洋女子大学）	医療的ケア児保育の実施体制に関する自治体間比較
〔講評〕 社会的な要請が大きい医療的ケア児保育にいち早く焦点を当て、丁寧な資料分析とヒアリングにより制度の特徴と課題を具体的に明らかにしている点が高く評価できます。研究目的、先行研究に対する本研究の位置づけ、研究方法、結果と考察なども明確に記されており、読む側としてもとても勉強になりました。	

[調査報告]

著者・所属	論文等タイトル
太田 研（山梨県立大学 人間福祉学部） 和田 一郎（獨協大学 国際教養学部）	放課後児童クラブにおける危機管理マニュアルの活用に関する探索的調査 - 設置・運営形態による特徴 -

鈴木 勲（名寄市立大学 保健福祉学部） 仙田 考（田園調布学園大学大学院 人間学研究科）	
〔講評〕 2018 年に実施されたインタビュー調査のデータに対し、KH コーダーによる二次分析が施され、報告書とは異なる知見が見出されました。計量的テキスト分析の結果、異なる共起ネットワーク示され、設置・運営形態によって支援者の認識が異なることが分かりやすく示されています。	